

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
1学年	前期	2単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、八巻ちひろ、上田恵、五十畠麻奈美、黒崎美月、境原三津夫			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間	
	【担当教員】 ◎増澤 祐子 八巻 ちひろ 上田 恵 五十畠 麻奈美 黒崎 美月 境原 三津夫	【所属】 新潟県立看護大学 同上 同上 同上 同上 桐生大学保健医療学部看護学科	【研究室】 309 302 共同研究室2 302
【メールアドレス】 cyamaki@niigata-cn.ac.jp ueda@niigata-cn.ac.jp isohata@niigata-cn.ac.jp mitukuro@niigata-cn.ac.jp			
【本学の科目区分】 専門科目			
【D P 1】 ○ 【D P 2】 ◎ 【D P 3】 ○ 【D P 4】 ○ 【D P 5】 ○ 【D P 6】 ◎			

到達目標	1. 産褥期における助産診断の特徴を説明できる 2. 産褥期の助産診断に必要な知識を修得し、助産過程の展開ができる 3. 複雑なセルフケア能力に応じた支援、退院後の生活を見据えた支援・保健指導を説明できる 4. 複雑な家族に必要な保健指導の実施に向けた指導計画を立案し、実施または発表することができる 5. 産褥期に起こりやすい健康問題および異常について説明できる 6. 複雑な助産技術を修得できる
授業概要	複雑な身体的・心理的・社会的な特徴および正常な経過、起こりやすい健康問題を理解し、科学的根拠に基づいた助産過程を展開するために必要な知識・技術を修得する。また、女性と夫（パートナー）に対する家族計画の指導を学ぶ。

授業計画	1	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：産褥期の助産診断 学修内容：産褥の生理、産褥期の助産診断の特徴と診断類型 備考：八巻、常盤
	2	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：産褥期の適応とアセスメント 学修内容：退行性変化のアセスメント、産褥期の心理・社会的变化のアセスメント 備考：八巻
	3	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：複雑への支援 学修内容：退行性変化促進への支援、産後生活に関する支援 備考：五十畠
	4	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：母乳育児支援 学修内容：進行性変化のアセスメントとケア 備考：五十畠
	5	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：産褥期における健康教育 学修内容：家族計画、退院後の生活に向けた保健指導計画の立案 備考：上田
	6-7	授業内容 授業形態：遠隔授業 学修課題：産褥期の異常 学修内容：産科医師による講義 備考：境原
	8-10	授業内容 授業形態：対面授業 学修課題：産褥期の事例展開

	<p>学修内容：紙上事例を用いた産褥期の助産過程の展開 備考：八巻、五十畳</p> <p>授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：産褥期のフィジカルアセスメントに必要な技術 学修内容：産褥診察、乳房ケア、母乳育児支援 備考：五十畳、八巻</p> <p>13-14 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：産褥期の保健指導の計画立案 学修内容：母子同室指導、退院育児指導の計画案を作成 備考：八巻、五十畳</p> <p>15 授業内容 授業形態：対面演習 学修課題：産褥期の保健指導の実施 学修内容：母子同室指導または退院育児指導のロールプレイまたはプレゼンテーション 備考：五十畳、八巻</p>
事前・事後学習	事前学修：シラバスを確認して、テキストの該当内容を予習し、提示課題の学修をすること 事後学修：自己課題を見出し、自主的に自己学修に励むこと
評価方法、評価基準	到達目標1～6に対して、筆記試験80%、課題20%で評価
テキスト	<p>【必携図書】</p> <p>助産学講座7 助産診断・技術学II [2] 分娩期・産褥期, 医学書院 今日の助産(改訂第4版)－マタニティサイクルの助産診断・実践過程, 南江堂 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会, 産婦人科診療ガイドライン 産科編2023 根拠と事故防止からみた母性看護学技術 第3版, 医学書院</p>
参考図書・資料等	<p>助産師基礎教育テキスト2023年版 第6巻 産褥期の診断とケア/新生児期・乳幼児期のケア, 日本看護協会出版会 助産師基礎教育テキスト2023年版 第7巻 ハイリスク妊娠産褥婦・新生児へのケア, 日本看護協会出版会 アセスメント力を磨く助産師のためのフィジカルイグザミネーション 第2版, 医学書院 荒木勉, 最新産科学(正常編) 第22版, 文光堂 荒木勉, 最新産科学(異常編) 第22版, 文光堂 病気がみえるVol. 10産科第4版 家族計画指導の実際 少子社会における家族形成への支援 第2版増補版, 医学書院</p>
受講、課題、資料配布等のルール	課題を提示するので、事前に学修をして授業に臨むこと 授業には積極的に参加して主体的に学修する姿勢で臨むこと ※授業内で随時資料を配布します
教員からのメッセージ	本科目は助産学実習前提科目であることを意識して授業に臨んでください
オフィスアワー	在室時、可能な限り対応します